

重さを物体識別 ID として用いるメモ共有システム

橋 本 翔[†] 増 井 俊 之^{††}

このパンフレットは、インタラクションシンポジウムに投稿する予稿を、日本語 L^AT_EX を用いて作成し提出するためのガイドである。このパンフレットでは、予稿作成のためのスタイルファイルについて解説している。また、このパンフレット自体も予稿と同じ方法で作成されているので、必要に応じてスタイルファイルとともに配布するソース・ファイルを参照されたい。なお、このスタイルファイルは情報処理学会論文誌のスタイルファイルと同じコマンドを用いている。したがって、基本的には、スタイルファイルを情報処理学会論文誌用のものに替えるのみで、シンポジウム用原稿から論文誌用原稿を簡単に作成できる。ご活用されたい。

Memo shareing sytem uses mass as ID to detect Object

SHO HASHIMOTO[?] and TOSHIYUKI MASUI[?]

This pamphlet is a guide to produce a camera-ready manuscript of a paper to appear in the proceedings of IPSJ INTERACTION, using Japanese L^AT_EX and special style files. Since the pamphlet itself is produced with the style files, it will help you to refer its source file which is distributed with the style files.

1. はじめに

あいいうえお²⁾

[†] 慶應義塾大学 政策メディア研究科

Keio University, Graduate School of Media and Governance

^{††} 慶應義塾大学 環境情報学部

Keio University, Faculty of Environment and Information Studies

参 考 文 献

- 1) Lamport, L.: *A Document Preparation System L^AT_EX User's Guide & Reference Manual*, Addison Wesley, Reading, Massachusetts (1986).
(Cooke, E., et al. 訳: 文書処理システム L^AT_EX, アスキー出版局 (1990)).
- 2) 伊藤和人: L^AT_EX トータルガイド, 秀和システムトレーディング (1991).
- 3) 桜井貴文: 直観主義論理と型理論, 情報処理, Vol.30, No.6, pp.626–634 (1989).
- 4) 野口健一郎, 大谷 真: OSI の実現とその課題, 情報処理, Vol.31, No.9, pp.1235–1244 (1990).
- 5) Itoh, S. and Goto, N.: An Adaptive Noiseless Coding for Sources with Big Alphabet Size, *Trans. IEICE*, Vol. E74, No. 9, pp. 2495–2503 (1991).
- 6) 田中正次, 村松 茂, 山下 茂: 9 段数 7 次陽的 Runge-Kutta 法の最適化について, 情報処理学会論文誌, Vol.33, No.12, pp.1512–1526 (1992).
- 7) Abrahamson, K., Dadoun, N., Kirkpatrick, D.G. and Przytycka, T.: A Simple Parallel Tree Contraction Algorithm, *J. Algorithms*, Vol.10, No.2, pp.287–302 (1989).
- 8) 田中正次ほか: 9 段数 7 次陽的 Runge-Kutta 法の次数条件式の解について, 情報処理学会論文誌, Vol.33, No.12, pp.1506–1511 (1992).
- 9) Chang, C.L. and Lee, R. C.T.: *Symbolic Logic and Mechanical Theorem Proving*, Academic Press, New York (1973). (長尾真, 辻井潤一訳: 計算機による定理の自動証明, 日本コンピュータ協会 (1983)).
- 10) 新世代コンピュータ技術開発機構: 第五世代コンピュータプロジェクトの概要, FGCS'92 にて配布 (1992).
- 11) 情報処理学会論文誌編集委員会: L^AT_EX による論文作成のガイド (第 1 版) (1995). (論文著者に配布).